

第59回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展 日本館展示
ダムタイプ《2022》 報告会のご案内
6月17日(金) 18時30分 オンライン開催



日本館内
ダムタイプ《2022》展示風景
撮影：世利之
©ダムタイプ

第59回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展（開催期間：2022年4月23日～11月27日）において国際交流基金（JF）が主催する日本館展示につきまして、出品作家であるダムタイプのメンバーを招いての報告会をYoutubeでライブ配信いたします。

今年の日本館では、アートコレクティブの先駆的存在として世界各国で活躍するダムタイプが、新作インスタレーション《2022》を発表しました。ダムタイプがヴェネチアで挑戦する新たな表現、そしてそこに込めた問題意識を作家自身が直接語る貴重な機会です。報道関係の皆様にご視聴いただき、また貴媒体におきまして掲載・ご紹介いただけましたら幸甚に存じます。

記

【日時】 2022年6月17日(金) 18時30分～20時

【登壇者】 作家：高谷史郎、古舘健、濱哲史（ダムタイプ）

モデレーター：森山朋絵（東京都現代美術館 学芸員）

【言語】 日本語

【配信】 JF公式 Youtube ライブ配信チャンネル <https://youtu.be/RSLRA0x835s>

※報告会の映像は、後日 JF 公式 Youtube チャンネルにてアーカイブ配信します（英語字幕予定）

以上

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 広報部（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp

2022

アーティストグループ「ダムタイプ」が、新たに坂本龍一をメンバーに迎え、ビエンナーレのために新作を制作。展示室の中心から北・東・南・西の方角に置かれた4台の高速で回転する鏡にレーザーを反射させて、周囲の壁に文字を投影。1850年代の地理の教科書から引用されたテキストが、シンプルで普遍的な問いを投げかける。回転する超指向性スピーカーからテキストを朗読する音声が流れ、音のビームとなって室内を移動し不意に鑑賞者の耳元に届く。
(朗読：デヴィッド・シルヴィアン、竹内真里亜、カヒミ・カリイ、ニキ)

『インターネット／ソーシャル・メディアの進化・発展や、世界的に感染が拡大した新型コロナウイルスにより大きく変化した、人々のコミュニケーションの方法や世界を知覚する方法について、あるいは「Post Truth」「Liminal Spaces」について。周囲を取り囲む言説群と対比的に、部屋の中央の空所は、どこでもない場所であり、どこでもある場所である。』

ダムタイプ

第59回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展 日本館

コミッショナー：国際交流基金（JF）

アーティスト：ダムタイプ（プロジェクトメンバー：高谷史郎、坂本龍一、古舘健、濱哲史、白木良、原摩利彦、泊博雅、南琢也、空里香、高谷桜子 ほか）

会場：日本館（ビエンナーレ会場のジャルディーニ地区内）

Padiglione Giappone, Giardini della Biennale | Castello 1260, 30122 Venezia

会期：2022年4月23日（土）～11月27日（日）

日本館オープニング：2022年4月20日（木）14:30開始（現地時間）

特別助成：石橋財団

日本館展示 帰国展

会期：2023年2月25日（土）～5月14日（日）（予定）

会場：アーティゾン美術館（東京都中央区京橋）

主催：公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館、国際交流基金（JF）

ダムタイプ

ビジュアル・アート、映像、コンピューター・プログラム、音楽、ダンス、デザインなど、様々な分野の複数のアーティストによって構成されるグループ。1984年の活動開始以来、集団による共同制作の可能性を探る独自の活動を続けてきました。特定のディレクターをおかず、プロジェクト毎に参加メンバーが変化するなど、ヒエラルキーの無いフラットでゆるやかなコラボレーションによる制作活動は、既成のジャンルにとらわれない、あらゆる表現の形態を横断するマルチメディア・アートとして内外で紹介されています。

これまでに発表した作品は、メルボルン国際芸術フェスティバル、香港藝術節、バービカン・センター（ロンドン）、新国立劇場（東京）、国際モダンダンス・フェスティバル（ソウル）、リヨン現代美術館、アテネ・コンサートホール、シンガポール

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 広報部（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp

芸術祭、シカゴ現代美術館、アムステルダム市立劇場など、世界中のフェスティバルや美術館で数多く上演／展示されています。

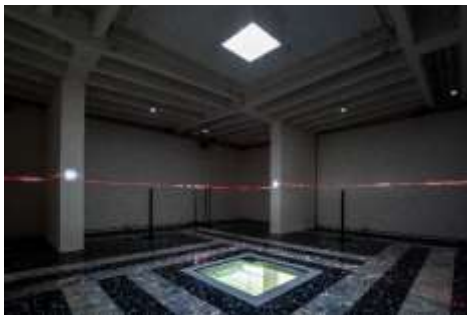
2018年には、個展「DUMB TYPE | ACTIONS + REFLECTIONS」が、ポンピドゥー・センター・メッス（フランス）で、その後2019年から2020年にかけて東京都現代美術館で開催されました。2020年3月には、新作パフォーマンス《2020》をロームシアター京都で制作。2022年5月6日から9月11日までハウス・デア・クンスト（ミュンヘン）で個展が開催中です。

日本館 ダムタイプ《2022》広報用画像について

展示会の広報用画像を希望される方は、広報担当の西谷、那波（venezia@jpf.go.jp）までご連絡ください。

【ご使用時の注意点とお願い】

- ・画像のご使用は本展の広報目的のみに限ります。
- ・画像の掲載に際しては、作家名、作品名、作品情報及び所定のクレジットを必ず記載してください。
- ・画像の改変（トリミング、部分使用、文字のせ含む）、二次使用はご遠慮ください。
- ・事実関係確認のため、出版前に記事校正を広報担当者までお送りください。
- ・掲載誌または掲載記事を広報担当者までお送りください。



日本館内



館内壁面に文字を投影するレーザーシステム



レーザーによって館内壁面に投影された文字



レーザーによって館内壁面に投影された文字



日本館ピロティ
上階と繋がる穴の部分にハーフミラーボックスが設置された



日本館外観

【画像キャプション】上記画像すべて

日：ダムタイプ《2022》展示風景 撮影：世利之 ©ダムタイプ 提供：国際交流基金

英：Dumb Type, 2022, Installation view, Photo: Yuki Seli, ©Dumb Type,

Courtesy of The Japan Foundation

以上

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 広報部（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp